

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)古淵鵜野森1丁目計画新築工事	階数	10
建設地	相模原市南区鵜野森一丁目601-2地	構造	RC造
用途地域	準工業地域・防火地域無指定	平均居住人員	501人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年1月23日
敷地面積	6,155㎡	作成者	(株)長谷エコーポレーション
建築面積	1,894㎡	確認日	2024年1月26日
延床面積	12,921㎡	確認者	(株)長谷エコーポレーション

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 vs 環境負荷 L</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 72% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 72%</p> <p>④上記+ 72%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q1 室内環境: 3.6</p> <p>Q2 サービス性能: 2.7</p> <p>Q3 室外環境(敷地内): 2.2</p> <p>LR1 エネルギー: 4.1</p> <p>LR2 資源・マテリアル: 2.9</p> <p>LR3 敷地外環境: 3.4</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	JR南武線 古淵駅 徒歩14分の古淵鵜野森公園に隣接した場所に共同住宅を計画した。	その他 0
Q1 室内環境	建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得予定。
Q3 室外環境(敷地内)	0	
LR1 エネルギー	BEI=0.71、LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上げ材の分別しやすい工法としている。
LR3 敷地外環境	0	LR3 敷地外環境 広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される